

【報道関係者各位】

2021年5月30日

中銀カプセルタワービル A606 プロジェクト

中銀カプセルタワービル・カプセル保存に向けたクラウドファンディング開始

「記録保存」＋「カプセル保存」＋「シェア保存」で中銀カプセルタワービル「3つの保存」スタート

中銀カプセルタワービル A606 プロジェクト（東京都中央区、代表 いしまるあきこ、以後 A606 プロジェクト）は、2022 年 3 月以降に解体が予定されている中銀カプセルタワービル・カプセルユニットの「3つの保存」に取り組むため、5 月 30 日にクラウドファンディングを開始しました。



■「3つの保存」とは

建物解体後にカプセルユニットを譲り受ける A606 プロジェクトは、解体前に学術的な全戸調査による「記録保存」、カプセルのオリジナル家具類とカプセルユニットの「カプセル保存」に取り組みます。また、解体後に動くカプセルにすることで移動しつつ多くの人々との「シェア保存」に取り組みます。

■クラウドファンディングの概要

実施名 : 解体迫る！中銀カプセルタワービル全戸調査記録＋動くカプセルで保存へ

実施サイト : <https://readyfor.jp/projects/capsuleA606> ※「READYFOR」を利用しています。

実施期間 : 2021 年 5 月 30 日（日）9 時～2021 年 7 月 28 日（水）23 時

目標金額 : 150 万円

資金の使い道: 「記録保存」「カプセル保存」に伴う建物内のアスベスト対策費、扉の開錠費用、ほか

リターン内容: オンライン見学会、全戸調査図録、オリジナルグッズ（T シャツ、缶バッジ、ハガキ）ほか

■お問い合わせ・連絡先

中銀カプセルタワービル A606 プロジェクト（東京都中央区銀座 8-16-10 中銀カプセルタワービル A606）

代表 いしまるあきこ info@capsule1972.com / 090-4363-9124

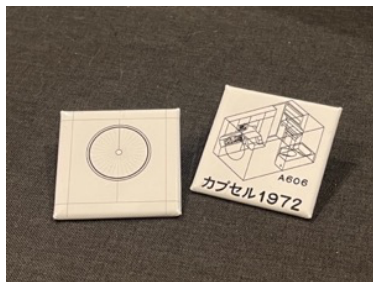
ウェブサイト <http://capsule1972.com> Twitter @capsuleA606 Instagram ID capsule1972_archive

■クラウドファンディングのリターンの一例

◎オンライン見学会 3,000 円

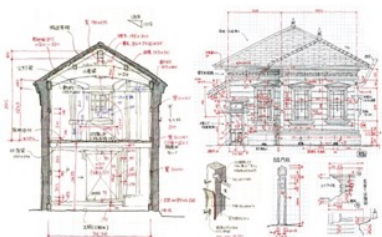
- ・中銀カプセルタワービル A606 を中心に共用部も含めたオンライン見学会を行います。

◎オリジナル四角缶バッチ（2 個セット） 2,000 円



※若干のデザイン変更がある場合があります

◎ハガキ（渡邊義孝氏の実測野帳 Ver.・3 枚セット） 3000 円



※過去に雑誌等で掲載された渡邊氏の野帳。イメージ。

◎オリジナルTシャツ 1 枚（黒・白） 6,000 円



◎カプセル全 140 戸まとめ図録 30,000 円

< 予定収録内容 >

- ・図面：実測調査によるカプセルユニット 4 パターン（A,B,C,D）の平面図＋展開図
- ・図面：カプセル全 140 戸の竣工時と現在の変化のまとめ（オリジナル残存度を図説）
- ・図面：実測調査による共用部の平面図＋展開図
- ・写真：カプセルユニット 4 パターン（A,B,C,D）の四面写真 ※撮り下ろし
- ・写真：外観、共用部 ※撮り下ろし

■「中銀カプセルタワービル」と解体の経緯

故・黒川紀章氏設計、東京都中央区銀座に建つ 1972 年竣工、「メタボリズム建築」の代表作で世界的に著名な建築です。A・B の 2 棟に全 140 戸の丸窓が特徴的なカプセルユニットの外観もよく知られています。25 年に一度はカプセルユニットを交換する計画であったことが「メタボリズム（＝新陳代謝）」のゆえんでしたが、築 49 年となる 2021 年現在でも実現していません。分譲マンションである中銀カプセルタワービルは、区分所有者たちの管理組合で保存か解体かで長年意見が割れていましたが、「マンション建て替え法（マンションの建て替え等の円滑化に関する法律）」の「マンション敷地売却制度」を利用した「買い受け企業」によるカプセル（区分所有）の買い取りがほぼ終わり、2022 年 3 月以降の解体に向け準備が進んでいます。入居者・使用者も残りわずかという状況です。



■中銀カプセルタワービル A606 プロジェクトとは

代表で一級建築士のいしまるあきこが 2013 年から 1 年ほど中銀カプセルタワービル B 棟 9 階のカプセルを保存派の所有者から借りて住み始めました。その後からオフィスとして使用し、2017 年から A606 をシェアオフィスとして企画・運営しています。自身を含む 8 名の会員とともに現在も使用しています。オリジナルの棚やユニットバスなどもよく残る A606 で、1972 年竣工時にカプセルをレストアしてきました。「レストア（＝restore）」は、車などの古い乗り物を修復し復活させる際によく使われる用語です。レストアすることで竣工時 1972 年の機器類（ブラウン管テレビ、オープンリール、ラジオ、電気計算機、電話、冷蔵庫、ブラインドなど）も直して、現代でも使えるようにしています。カメラマンの副代表が設備機器類の修復、メンテナンスを行っています。



写真 左：カプセル A606 の内観。 中：A606 の設備機器類（ブラウン管テレビに「地デジ」が映り、代表のいしまるがオープンリールを操作している様子） 右：オリジナルのユニットバス

■お問い合わせ・連絡先

中銀カプセルタワービル A606 プロジェクト（東京都中央区銀座 8-16-10 中銀カプセルタワービル A606）

代表 いしまるあきこ info@capsule1972.com / 090-4363-9124

ウェブサイト <http://capsule1972.com> Twitter @capsuleA606 Instagram ID capsule1972_archives